

韓国語訳課題

○課題: 次の文章はある日本の美術作品について、タイトル(作品名、作者、制作年代)および解説を記述したものです。この文章を韓国語に訳しなさい。(様式自由。PC 作成可。)

国宝《花鳥図襖》狩野永徳筆 室町～安土桃山時代 16世紀

京都、大徳寺の塔頭、聚光院は、戦国武将・三好長慶の菩提を弔うために創建されました。その方丈の障壁画を手掛けたのが、狩野永徳です。

こちらは永徳の代表作の一つに数えられる「花鳥図襖」、16面の内の4面です。薄く金泥をひいた背景に躍動感ある筆遣いで表された松。その木陰で、一羽の鶴が地面をつついています。左側は、空を舞う雁が地上の仲間と鳴き交わす秋の情景。この襖は部屋の西側で、向かいの東側には春の様子が広がっています。

安土桃山時代から江戸の世、画壇に君臨した狩野派は、足利将軍の御用絵師として活躍した正信に始まります。2代目元信は中国絵画にやまと絵を融合させた独自のスタイルを作り上げました。そして時は巡り、将軍家が信長に滅ぼされると、永徳は祖父・元信の表現を引き継ぎつつ、天下人に愛されるダイナミックな様式で桃山の美術を牽引しました。